

白山ふるさと文学賞

第七回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生5・6年作文の部 優秀賞

# ぼくの夢

千代野小学校五年

田中 たなか

颯人 はやと

ぼくは、小さいころからつみ木やブロックあそびが大すきでした。小さいころの写真を見ると、ブロックやつみ木であそんでいる写真がたくさんです。一才のおたん生日はおじいちゃんおばちゃんから、初めてレゴブロックを買ってもらったそうです。そのレゴは赤ちゃんむけの大きいサイズの動物がたくさん入っているレゴブロックです。それからぼくは、プレゼントがもらえるおたん生日やクリスマスには、いつもレゴブロックをプレゼントにもらっています。

ぼくがなぜレゴブロックが好きかと言うと、船・車・動物・飛行機などたくさんのもので作れるからです。そして見本どおりに作ることもできるけど、自分の想像で作って、いろんな世界を楽しむことができます。でも説明書を見て作ったのははくりよくがあり、作っていてすごくよく考えられていると思います。

ぼくは、そんなレゴブロックが好きなので、大人になったらレゴを作っているレゴ社にとめたいです。それが今のぼくの一番の夢です。その夢のことを考えてみて、大人になったぼくがレゴ社で働いている姿を想像すると、とても楽しくておもしろくて、幸せな気持ちになれます。レゴ社について、インターネットで調べてみると、なんとレゴ社の本社は外国のデンマークというところにあるそうです。デンマークという国は初めて聞いたので、調べてみると、なんと幸福度ランキング一位だということが分かりました。そんな国にレゴ社があるなんて思ってもいけませんでした。

レゴ社の本社の建物は、最近たて直されたそうで、建物の中には、レゴブロックのようなカラフルな階段やレゴの人形がかがざってあって、カフェやゴルフコースやジムまであって、ぼくの想像していた会社のイメージとちがってとてもびっくりしました。働くことは大変というより、楽しんでお仕事ができそうな会社にすごいなと思いました。レゴ社で働く夢がかなったら、ぼくは幸せだろうと思います。そのためには、英語が話せるようにならないとダメだとお母さんに言われました。ぼくは小

学校で英語をならっているけど、苦手だと思っていました。でも、ぼくの夢のためには、英語の勉強をしっかりとがんばりたいと思います。そして外国の人と英語で話せるようになりたいと思います。

他にがんばることは、レゴをたくさん組み立てて、レゴブロックのたくさんあるパーツを覚えていたり、自分で考えて色々な家や乗り物や動物などを作っていくきたいです。そしてレゴブロックを作るスピードを早くしたり、レゴを使ったギミックをたくさん作れるようにしたり、色の組み合わせを工夫したりして、レゴブロックを作るレベルをどんどん上げていきたいです。

ぼくがレゴブロックの好きな所は、人形の種類がたくさんあり、テーマがとても面白い所です。たとえばニンジャ、ジャングル、恐竜、けいさつしよなど本当にたくさんあります。遊んでいて、こまかい場所がよく作られていて本物みたいで、その世界に入ったみたいで夢中になって遊べます。

でもレゴブロックは子供だけではなく大人も遊べます。それは、レゴテクニクと言って、部品がこまかくてふくぎつでとてもブロックの数が多いがあります。やりがいがあります。

ぼくの友達のお父さんは、ぼくと同じで、子どものときからレゴが好きで大人になっても好きなレゴブロックを買って、好きなように作ったり、かざったり、分解して作り直したりして、大人になっても楽しんでいきます。子供でも大人でも楽しめるのがレゴのすごい所だと思います。だからレゴ社で働きたいと思っています。

レゴ社で働きたいという夢がかなったら、子供も大人も男の子も女の子もみんなが楽しめるレゴをたくさん考えて、みんなに笑顔になつてもりたいです。外国で働くのは大変だけど、夢をかなえるためにたくさん努力をしたいと思います。そして、これからも大好きなレゴブロックで遊びたいと思います。